ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

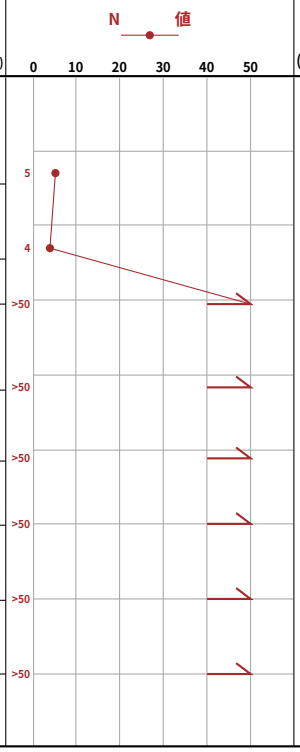
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-1(測点No.10+2/L4.5)	調査位置						北　緯	36 ° 49 ' 46.2500 "
発 注 機 関	栃木県日光土木事務所　河川砂防部			調査期間	2008-01-15 ～ 2008-01-18			東　経	139 ° 42 ' 55.1000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	387.77 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 3.00 °	使用機種	試錐機 / ハンマー落下用具
総掘進長	8.00 m								エンジン / ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1					盛土 (BS)	暗灰～暗褐		中位	0.30mまで舗装 アスファルト版厚0.05m 0.05～0.30m間、砕石 以深、礫混じりシルト 所々に径φ10～70mm程度の礫混入 希にコア長30～40mmの粗礫・粗石混入		
2	385.07	2.70	2.70								
3					粗石混じり砂礫 (GS)	暗褐～暗灰	非常に密な		径φ10～50mmの亜円・亜角礫主体 マトリックス(礫間充填物)は中～粗砂 所々にコア長50～150mm程度の粗石・巨石混入 4.20m以深、粗石・巨石密集(コア長50～200mm) 孔壁の自立性やや低い		
4											01/15
5	382.17	2.90	5.60								01/16
6					流紋岩 (Ry)	灰褐			全体的にやや凝灰質を呈す 上部6.00mまで弱風化しやや粘土化を呈す 以深、コアは片状～短柱状で50～100mm程度主体 全体的にコアは弱風化し灰褐色を帯びている コアはクラックは多いが比較的密着している クラックは主に50～70 ° 程度の斜状が多く部分的に水平クラックがみられる クラック面は風化し暗褐色を呈す ダイヤモンドビットにより掘削可能 コア採取率は100% RQDは10～30%(最大長160mm) 岩はＣＭクラスと判定	CM	
7											
8	379.77	2.40	8.00								01/17

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2 / 13	1 / 7	2	5 / 30	5
1.45					
2.15	1	1	2	4 / 30	4
2.45	50 / 1			50 / 1	>50
3.05					
3.06					
4.15	50 / 5			50 / 5	>50
4.20					
5.10	50 / 5			50 / 5	>50
5.15					
6.00	50 / 1			50 / 1	>50
6.01					
7.00	50 / 1			50 / 1	>50
7.01					
8.00	50 / 0			50 / 0	>50
8.00					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日